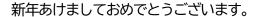
川崎市聴覚障害者情報文化センターだより





皆さまにおかれましては、令和6年の清々しい元旦をお迎えになられたことと存じます。

昨年中は、川崎市聴覚障害者情報文化センターの事業に対しまして、深いご理解とご 協力を賜り、誠にありがとうございました。

今年は当センターが開所してから25年目となります。川崎市として聴覚障害者福祉の専門職員(ろうあ者相談員・非常勤嘱託)を最初に配置したのが昭和50年(1975年)です。平成12年(2000年)1月4日に当センターを開所し、その当時は正職員3名、常勤嘱託職員6名、非常勤職員3名、合計12名の職員配置でした。現在(2024年1月1日現在)、正職員9名、常勤嘱託職員2名、非常勤職員6名、合計17名の職員配置となり、聴覚障害者福祉に携わる職員が少しずつ増えてきました。

これもひとえに川崎市行政の深いご理解とご支援、そして関係団体等の地道な取り組 みがあったからです。この紙面をお借りして厚くお礼を申し上げます。

当センターは手話通訳者・要約筆記者を派遣する事業所であると同時に、聴覚障害者 に対する理解を広げ、聴覚障害者が地域の中で安心して暮らすことができる地域づくり を担っていく事業所でもあります。

本年も職員一同、皆さまの期待に応えられるよう聴覚障害者福祉向上のための事業を 実施して参りたいと思いますので、一層の御支援と御協力を賜りますよう お願い申し上げます。

末筆ながら、皆さまのご多幸とご健康を祈念し、 新年のご挨拶とさせていただきます。 施設長 尾上秀夫

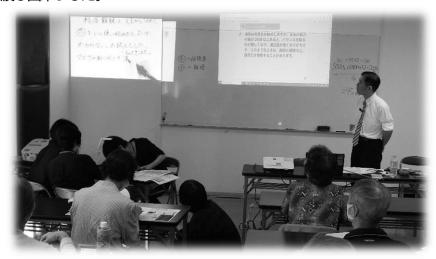
補聴器とコミュニケーションの講座

10月に全4回の補聴器とコミュニケーション講座をかわさき老人福祉・地域交流センターで開催しました。 初めて講座を実施する会場で、定員が15名と少なめでした。定員超えのため、お申し込みをお断りする方が いて、大変心苦しかったです。しかし、アットホームな雰囲気が出来上がり、のべ47名の参加、全4回すべて 出席の方に渡している修了証は7名にお渡し出来ました。

補聴器講座の講師は一般社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会の情報文化部長、小川光彦氏。

いつもていねいで見やすい資料を作成してくださいます。難聴当事者の講師として、自分の経験なども含めてのお話は説得力があります。

1回目の講義を聞いて、質問を出してもらいます。補聴器の金額、買い替え、価格差、助成金の質問が多かった



です。他にも耳鳴り、両耳装用など多くの方に共通する質問があり、音声認識、人工内耳の話まで広がりました。会場で実際に音声認識のアプリをダウンロードして、その場で使い始めた方もいました。このように2回目に質問に答える形で理解を深めます。

講座後半は、難聴者の体験談、読話・手話の体験、聞こえを助ける福祉機器の紹介です。

他に特定非営利活動法人川崎市中途失聴・難聴者協会の活動や当センターの事業説明など。

この講座をきっかけに当事者団体や当センターとつながりができ、今すぐでなくても将来何か困った時に思い 出していただきたいと思います。



次は2月に麻生区で開催です。

2月15日、22日、29日、3月7日 毎週木曜日 13:30~15:30 麻生老人福祉センターにて。定員の30名を超えた場合は抽選となります。

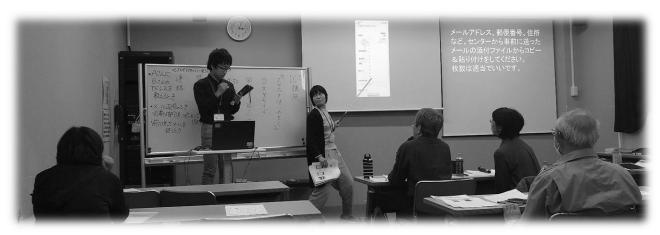
ICT講座

10月と12月にICT講座を開催しました。

10月29日(日)

スマートフォンを使うときに、知っていると便利な操作のひとつとして「コピーと貼り付け」を学びました。 オンラインを使った登録や申し込みが増えています。その時に避けて通れないのが住所やメールアドレスの入力。長くて複雑な文字の入力は大変です。そんな時に「コピーと貼り付け」を使うと、簡単に入力できます。講座では架空のネットショッピング画面を使って、全員がコピーと貼り付けにチャレンジしました。

難しかったのは画面操作時の指の力の強弱です。強く押しすぎると選択ができなかったり、別の操作になって しまったり…。コツをつかむまではとても大変ですが、皆さんが諦めずに繰り返しチャレンジしている姿がとて も印象的でした。



12月12日(火)

電話リレーサービスについて学びました。一般財団法人日本財団電話リレーサービスの方にご講演いただきました。親しみやすい例を交えながら丁寧に説明していただいたおかげで、皆さん電話リレーサービスについて具体的なイメージが持てたのではないでしょうか。普段は覗き見できない実際の通話を見せていただいたり、川崎市在住のろう者、中途失聴者の体験談を聞いたり、と盛りだくさんの講座になりました。



今年度のICT講座はこれで終了となります。ICTは、生活を便利 にしてくれるだけでなく、災害時や緊急時に役立つ技術です。もしもの 時に使えるように、普段から少しずつ慣れておくのが良いと思います。 その場として今後もICT講座を活用いただけたらと思います。

今年度も、関係4団体(特定非営利活動法人川崎市ろう者協会、特定 非営利活動法人川崎市中途失聴・難聴者協会、川崎市登録手話通訳者 団、川崎市登録要約筆記者協会)の皆さまにはアシスタントとしてご協 力をいただきました。どうもありがとうございました。

音声認識の企画

11月23日(木・祝)井田老人いこいの家の大広間を会場に、「リスピーク方式による音声認識技術を活用した情報保障ーリスピークのデモー」という企画を開催し19名の方が参加されました。



2年前より音声認識技術を活用した情報保障の導入について検討を重ねてきました。初年度は特定非営利法人 川崎市中途失聴・難聴者協会、川崎市登録要約筆記者協会との話し合い、昨年度は2回の企画を開催しました。 昨年度の企画より筑波技術大学の先生にご協力をいただいています。今回の企画でも4名の先生のご協力をい ただきました。その中で安啓一先生を中心に進めていただきました。

リスピークのデモとして、3通りのパターンを実施し、比較検討しました。



↑②会場にパーテーションで作ったブース

- ①講演の音声を流して、そのままで音声認識。
- ②会場にパーテーションでブースを作り、そこで リスピーク。
 - ③別会場でリスピーク。
- ①と②の間に、単語登録のやり方を紹介し、変換 に効果があることを実感しました。

会場内のブースでは、リスピーカーの声と、会場の スピーカーからの音がダブって認識されやすいこと がわかりました。別室で他の音が入らない状態でリ スピークするのがやりやすく変換もスムーズだとわ かりました。ただ、いろいろな現場によって条件が あるでしょう。

次回の企画では、これに「修正」を加えたデモをする予定で、音声技術を活用した情報保障の形が少しずつ見えてきたような気がします。

第3回福祉講座

11月12日(日)、第3回聴覚障害者福祉講座「ボランティア活動について学ぼう!」を実施しました。前半は、特定非営利活動法人川崎市ろう者協会理事長 大辻壮氏より、手話サークルの歴史と役割、ろうあ運動と手話サークルの関わり、手話サークルに求めることについてお話いただきました。後半は、当センターコミュニティワーカー 大西真木から、手話サークルの目的と役割、活動時の心構えについて話し、当事者団体との活動例をいくつか紹介させていただきました。

今年度最後となる聴覚障害者福祉講座は、1月23日(火)13:30~15:30、川崎市消防局警防部指令課 中川毅史氏、川本仁氏に「聴覚障害者の消防への通報方法等について学ぼう!」というテーマでお話いただきます。現地(当センター)参加希望の方は1月15日(月)までに当センターまでお申し出ください。なお、YouTubeでもご視聴いただけます(申し込み不要)。皆さまのご参加をお待ちしています。



第4回福祉講座視聴用URL https://youtu.be/FP65M5vbmgU (1月23日(火) 13:30~15:30の講演の間だけ見られます。)

行政職員対象研修

川崎市職員を対象とした研修を11月9日(木)午後に開催しました。

平成20年にこの研修を開始した時は、対象者を区役所の健康福祉サービス課(当時)の身体障害担当職員としていました。その後、市職員全体に対象を広げました。そのため様々な部署から、今回は21名の方が参加されました。

最初に聞こえない体験と当センターの見学を2班に分かれて交互に実施しました。イヤーディフェンダーを付けて、1対1の筆談をしてみる、ヒアリングループの受信体験、音声認識アプリの体験。

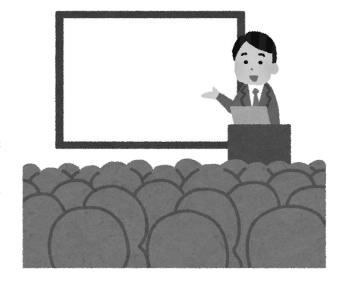
当センターの見学では、聴覚障害者に対応した設備の工夫などを見てもらいました。日常生活用具(聴覚障害者用情報受信装置)のアイドラゴン4を見るのは初めての方が多かったのではないでしょうか。

研修は職員が交代で担当し「聴覚障害について」「手話通訳と要約筆記について」の講義。最後は区役所・支

所に配備されているタブレットを使った「遠隔機器コミュニケーション支援事業」のデモンストレーションです。実際にタブレットを立ち上げ、遠隔手話通訳と接続し、通訳を体験しました。実際使ったことがあるのと、ないのとでは大きな違いがあります。是非職場に戻ったら、接続テストを周りの職員の方にお勧めくださいとお願いしました。

「手話という言語であることがわかりました。」「遠隔機器の存在は知っていたが、区役所内のどこにあるのかわかっていないので、確認しておこうと思う。」「日常生活用具の給付事務を行っていますが、実物が体験できてよかったです。」など実りのある研修になったようです。

当センターでしかできないこの研修を今後も続けていきたいと思います。



要約筆記者現任研修

令和5年度登録要約筆記者現任研修(センター担当)を下記の日程で二回実施しました。 当センター研修室参集とZoom併用のハイブリッド形式の各1回で開催しました。



事例検討~具体的な対応とその理由~(11月22日(水))

特定非営利活動法人全国要約筆記問題研究会より長尾康子講師を お迎えし、講義と事例検討を行いました。講義では要約筆記の原理 原則を振り返り、事例検討では4つの事例を手書き要約筆記者とパ ソコン要約筆記者の2グループに分かれて話し合い、発表していた だきました。どちらのグループも先輩後輩関係なく自由に意見が出 し合われ、長尾講師からの問いかけも入り、活発なグループ討議と なりました。まとめとして、「現場ではベリーベストな対応をしたい もの。現場での対応を振り返り派遣元と共有することが大事。」と締 めくくられました。今回の研修で得られたことを現場に活かしてい ただければと思います。

難聴者が望む要約筆記とは(12月13日(水))

一般社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会 宿谷辰夫理事長にオンラインでご講義をいただきました。中途失聴・難聴者運動と要約筆記者養成に至るまでの運動の歴史や、宿谷氏の地元である滋賀県での養成講座や難聴者協会の活動の様子などエピソードを交えながらのお話の中に、中途失聴・難聴者の皆さんの要約筆記に対する期待が盛り込まれていました。特に「どの難聴者も異論がないのは【同時性】と【正確性】のある要約筆記」という言葉に身の引き締まる思いをしました。これからも中途失聴・難聴者の皆さんに寄り添い、要約筆記者の皆さんと一緒によりよい派遣ができるよう努めたいと思います。

手話通訳者全国統一試験

12月2日(土)、「令和5年度手話通訳者全国統一試験」を実施しました。今年度は13名の方が受験されました。受験された皆さん、忙しい中、 実技試験対策や筆記試験の勉強、本当におつかれさまでした。試験結果は来 年3月、郵送にて発表予定です。



手話奉仕員養成講座

10月7日(土)、奉仕員養成講座(単発コース)〈基礎編〉が無事閉講しました。講師の粘り強い指導もあり、講座の1回1回が、手話やろう者について理解を深めていく貴重な時間になったのではないでしょうか。講師とのやり取りもすべて手話で進むため、思うように伝えられないもどかしさを感じた方も多かったようです。その気持ちを忘れず、今後も手話との関わりを続けていただけたらと思っています。約5か月間、おつかれさまでした。講師の皆さま、ありがとうございました。

そして、10月28日(土)からは〈入門編〉がスタートしました。〈基礎編〉と同様、講座会場である研修室は日本語なし、手話だけの空間になっています。受講生の皆さん、3月の修了まで、手話という言語と向き合う時間をぜひ楽しんでください。

手話通訳者養成講座

12月9日(土)、手話通訳者養成講座(通訳II/応用課程)全26回が無事終了しました。再受講者4名を含む13名の方が受講し、9名全員が修了証を手にしました。

今年度は、講座中撮影した自身の動画を復習として活用するなど、自己の振り返りが行えるよう担当講師が工夫してくださいました。来年度は現行のカリキュラムで実施する最後の通訳皿/実践課程となります。全国統一試験の合格、川崎市登録手話通訳者を目標に、学習を継続していただければと思います。

5月に開講して約半年。長期間にわたる受講でご苦労も多かったかと思います。最後まで受講いただきありがとうございました。また、実技講師の特定非営利活動法人川崎市ろう者協会、川崎市登録手話通訳者団の皆さま、ご協力ありがとうございました。

来年度以降、手話通訳者養成講座は新しいカリキュラムに基づき実施をする予定で す。日程が決まり次第、センターホームページにてお知らせします。



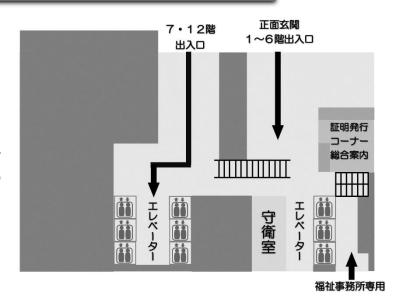
川崎区役所「ろうあ者・難聴者相談室」場所変更のお知らせ

12月27日(水)から 川崎区役所の「ろうあ者・難聴者相談」の場所が変更になります。

地域振興課相談情報コーナーが川崎区役所の3階から12階に、移転するためです。

1 2階まで行くためのエレベーターは、川崎 区役所(パレール三井ビルディング)の**右側の 自動ドア**からお入り下さい。

これまでの左側の自動ドアからのエレベーター では6階までしか行くことができません。



ビデオ通信 88

●貸出ベスト5 (2023年10月1日から12月31日)



順位	ジャンル別	本数
1位	センター制作分	30本
2位	手話学習	9 本
3位	記録·報道	3 本
3位	子ども・アニメ	3 本
3位	趣味·教養	3 本

●データ紹介

	10月	11月	12月	合計
来所者数	987	1,068	743	2,798
ビデオ 貸出数	15	18	23	56

<休館日のお知らせ>

休館日は毎週月曜日と祝祭日です。月曜日が祝祭日の場合は、翌日の火曜日も休みとなります。(Image | 休館日)

2024年1月							
日	月	火	水	木	金	土	
	1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31				

2024年2月						
日	月	火	水	木	金	±
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29		

2月18日全国統一要約筆記者認定試験(休館)

★ こちらもご活用ください ★



ホームページ

http://www.joubun.net/

Twitter(ツイッター)

ホームページ QRコード

https://twitter.com/DKawasakiJoubun

公式 LINE ID @361knuro



QR コードを読み取ると 友だち追加ができます

2024年3月							
日	月	火	水	木	金	土	
					1	2	
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	
31							

2024 年4月							
日	月	火	水	木	金	±	
	1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30					

